



2022年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社 東芝
東京都港区芝浦1-1-1
代表者名 代表執行役社長 CEO 島田 太郎
(コード番号: 6502 東、名)
問合せ先 執行役員
コーポレートコミュニケーション部長
石山 一可
Tel 03-3457-2095

株主還元方針、特別配当に係る基準日の設定及び2022年度の配当予想に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株主還元の方針及び2022年6月30日を剰余金の配当の基準日と定めるとともに、同日を基準日とする剰余金の配当(特別配当)並びに2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当(中間)及び2023年3月31日を基準日とする剰余金の配当(期末)の予想を下記のとおりとすることについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 株主還元の方針

当社は、2022年4月7日付「特別委員会設置のお知らせ」及び2022年4月21日付「潜在的な投資家及びスポンサーとの協議開始に関するお知らせ」で公表しておりますとおり、2022年2月7日付「(開示事項の経過) 東芝グループの戦略的再編について」及び「東芝グループ経営戦略」にて公表したスピンオフに関する戦略的再編をいったん中断し、潜在的な投資家やスポンサーとのエンゲージメントを通じて、パートナー候補となり得る潜在的な投資家やスポンサーから、当社の企業価値向上に向けた戦略的選択肢(非公開化を含みます。)に関する提案を募集することとし、現在そのプロセスが進行中です。

かかる状況を踏まえて、当社の株主還元方針を以下の様に変更することを、本日開催の取締役会にて決議いたしました。

(変更前)

当社は、平均連結配当性向30%(注)以上の実現を基本とし、適正資本水準を超える部分については、自己株式取得を含む株主還元の対象とします。なお、適正資本水準は定期的に

取締役会の検証を受けるものとし、2022年度、2023年度においても、適正資本水準を超える部分については、スピンオフの円滑な遂行を妨げない範囲で自己株式取得を含む株主還元を実施します。

キオクシアホールディングス㈱株式会社については、株主価値の最大化を図りつつ、実務上可能な限り速やかに現金化し、その手取金純額を適用法令の範囲内で全額株主還元に充当します。

今後、一層の株主還元の促進と当社の長期的な企業価値の向上を目的として、継続的な資本配分の改善のため、適切なレバレッジの活用を図ると共に、事業売却を含むポートフォリオの見直しを継続していく方針です。

上記方針に基づき、本日開示した事業計画の円滑な遂行を前提に、今後2年間で3,000億円程度の適正資本水準を超える資本が見込まれます。この超過分について、スピンオフの円滑な遂行を妨げない範囲で、株主還元に充当する予定です。

(注) 当面の間、キオクシアホールディングス㈱にかかる持分法投資損益は、本方針の対象外とします。

(変更後)

当社は、平均連結配当性向30% (注) 以上の実現を基本とし、適正資本水準を超える部分については、自己株式取得を含む株主還元の対象とします。なお、適正資本水準は定期的に取締役会の検証を受けるものとします。

キオクシアホールディングス㈱株式会社については、株主価値の最大化を図りつつ、実務上可能な限り速やかに現金化し、その手取金純額を適用法令の範囲内で全額株主還元に充当します。

今後、一層の株主還元の促進と当社の長期的な企業価値の向上を目的として、継続的な資本配分の改善のため、適切なレバレッジの活用を図ると共に、事業戦略や事業環境の変化を踏まえて適正資本水準の評価の見直しを適宜行ってまいります。

(注) 当面の間、キオクシアホールディングス㈱にかかる持分法投資損益は、本方針の対象外とします。

2. 追加の株主還元について

今般、2022年3月期決算の結果と2023年3月期の業績見通しを踏まえ、適正資本水準を検証した結果、上記にてお知らせする剰余金の配当(期末)控除後で約700億円が当該適正資本水準を超えるものと、取締役会として確認いたしました。

この検証の結果を踏まえた追加の株主還元の実施は、現在非公開化を含む戦略的選択肢の検討を進めている状況であることに鑑み、その全てを2022年6月30日を基準日とする1株当たり160円の剰余金の配当(特別配当)にて行うことを決定しました。

3. 基準日設定及び2022年度の配当予想について

上記の通り、2022年6月30日を基準日とする剰余金の配当(特別配当)を1株当たり160円と予想いたしました。

また、2022年度の連結当期純損益の業績予想参考値（キオクシアホールディングス㈱にかかる持分法投資損益の将来見通しを織り込んでいない参考値）が1,750億円であることから、平均連結配当性向30%以上の実現を基本とする配当方針を踏まえ、2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間）を1株当たり60円、2023年3月31日を基準日とする剰余金の配当（期末）を1株当たり70円とし、年間合計1株当たり130円の予想といたしました。上記特別配当を加えますと、年間合計1株当たり290円の予想となります。

基準日	1株当たり配当金（円）			
	特別配当 （6月30日）	第2四半期 （9月30日）	期末 （3月31日）	年間
当期予想	160円	60円	70円	290円
前期実績 （2022年3月期）	110円	40円	70円	220円

以上